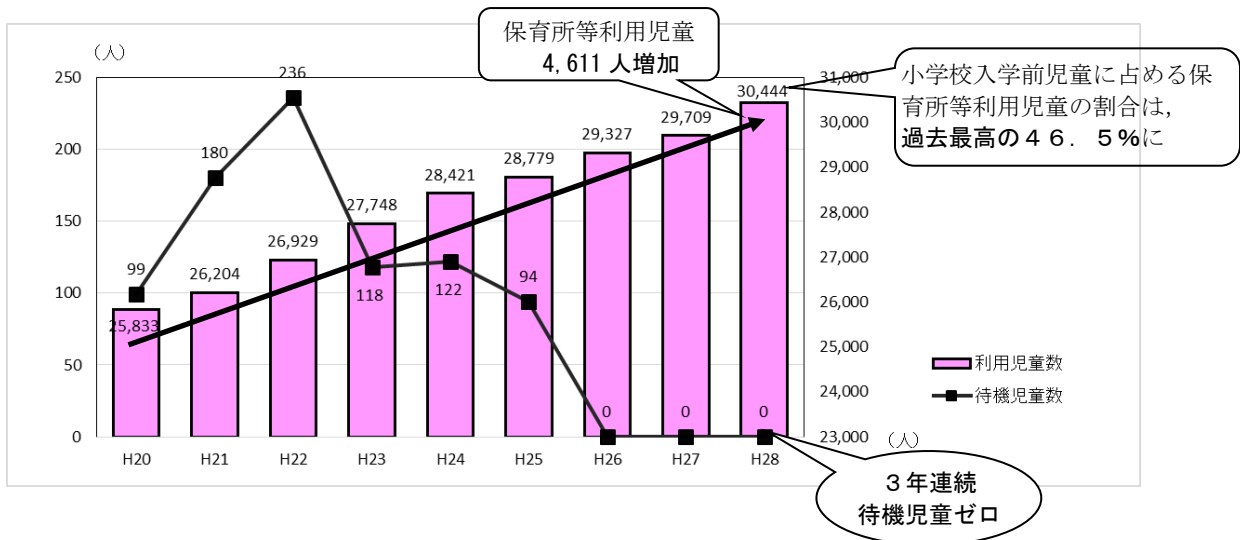


本市における待機児童対策等について

1 保育所等児童受入枠の拡大及び保育人材確保の取組状況

本市においては、加速化プラン策定以前から「安心して子どもを産み育てられるまち・京都」を実現するため、子育て環境の充実を市政の最重要課題の1つに掲げ全力で取り組んできた結果、平成26年4月に関西の政令市で初となる待機児童ゼロを達成した。

平成27年度から始まる子ども・子育て支援新制度に向けては、平成27年度から31年度までを計画期間とする京都市子ども・子育て支援事業計画を策定し、保育ニーズがピークに達すると言われる平成29年度末に向けて着実に受入枠の拡大等に取り組んでおり、年度当初の待機児童ゼロを平成26年度以降3年連続で達成している。



保育所・小規模保育事業等の利用児童，待機児童の推移

(単位：人)

年度(4月1日時点)	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	20年度→28年度
小学校入学前児童数 ①	69,049	68,536	67,929	67,725	67,738	66,791	66,322	65,779	65,503	△ 3,546
保育所等利用申込児童数	26,532	27,148	27,677	28,317	29,138	29,398	29,799	30,346	31,027	+4,495
保育所等利用児童数 ②	25,833	26,204	26,929	27,748	28,421	28,779	29,327	29,709	30,444	+4,611
小学校入学前児童数に占める割合 ②/①	37.4%	38.2%	39.6%	41.0%	42.0%	43.1%	44.2%	45.2%	46.5%	+9.1ポイント
待機児童数	99	180	236	118	122	94	0	0	0	

※「保育所等利用児童数」については、平成26年度以前は昼間里親の利用児童を含む。

保育士の確保に向けた取組として、平成25年度から保育関係団体と連携して「保育園就職フェア」を開催している。また、平成26年度に「京都市保育人材サポートセンター」を開設し、いわゆる潜在保育士と保育園の双方のニーズを踏まえ、就職につなげる取組を進めている。

さらに、平成28年度については、国の補助金を積極的に活用し、保育士資格取得を目指す保育補助者の雇用に係る費用の貸付等の新たな取組をはじめ、京都府においても保育士の資格取得を目指す学生に対する修学資金の貸付や保育所等での勤務が決定した潜在

保育士に対する就職準備金の貸付等が実施されるなど、府市一体で保育士を確保するための取組を推進している。

平成28年度からの新たな保育士確保の取組	
京都市	保育士資格の新規取得者の確保 保育補助者雇上げのための貸付事業 保育所等保育士資格取得支援事業 保育士試験合格者に対する実技講習
	潜在保育士の就職支援 保育士・保育所支援センター設置運営事業の充実
	保育士の就業継続支援 保育所等における業務効率化推進事業
京都府 ※京都市域も対象としている。	保育士修学資金貸付事業 未就学児をもつ潜在保育士に対する保育所復帰支援事業 潜在保育士の再就職支援事業

2 保育の質の確保・向上の取組

本市では、市独自負担により約4.4億円（平成28年度当初予算）を確保し、民間保育所の国基準を上回る保育士配置と職員処遇の改善を図っている。また、障害児が身近な地域の保育園に入所できるよう障害児に係る保育士加配を充実する等、高い保育水準の確保に努めている。

さらに、1歳児における保育士配置基準については、これまでから国基準は6：1となっているところを独自に5：1に配置基準を引き上げているが、平成28年度からは、1歳児の中でも特に配慮が必要な1歳6箇月に満たない児童について、本市配置基準を超えて4：1の保育士配置により保育を実施できるよう助成を充実している。

これらにより、保育の質の向上を図り、質・量ともに全国トップクラスの子育て環境を実現している。

○ 保育士の平均年収等（平成27年度）		
全 国：316万円		
京都府：341万円		
京都市：431万円		
【参考】全産業（全国）：454万円		
○ 歳児別保育士配置基準における京都市・国比較		
歳 児	京都市基準	国基準
0歳児	3：1	3：1
1歳児	<u>5：1</u>	6：1
2歳児	6：1	6：1
3歳児	<u>15：1</u>	20：1
4歳児	<u>20：1</u>	30：1
5歳児	<u>25：1</u>	30：1